

宙ガールになろう！キャリア形成を支援します JAXA男女共同参画推進室

◆ 男女共同参画推進室って？

JAXAは、2013年10月に男女共同参画推進室を設置しました。

男女ともに尊重し合い、能力を十分に発揮できる環境を構築し、宇宙航空分野の活力を一層高めます。

次世代キャリア支援として、中高生・大学生・大学院生を対象に、セミナー、カフェなどの交流イベントを通して、女子学生の理工系キャリアへのチャレンジを支援します。

◆ どんな取り組みをしているの？

JAXAの事業所は、業種・目的別に全国に広く展開し、体制・働き方・職務が多様です。このため、ニーズ調査結果に基づき、具体的な活動として、以下の取り組みを推進します：

(1) 安心して出産・子育て・介護を行える環境の整備

支援員の配置、保育・介護支援制度の活用により、出産や介護などによる離職を防ぎ、チームや個人のパフォーマンスの維持につとめます。

(2) 働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現

誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態をめざします。

(3) 研究者の研究開発力・組織マネジメント力の向上と能力発揮

自分自身の仕事やキャリアについて、適切な助言等を与えるJAXA内外の「メンター」の活用、スキル向上セミナーの活用により、能力向上をはかります。

(4) 女性研究者の採用・登用を拡大、意識啓発

数値目標と期限を掲げ、計画的に取り組みます。意思決定過程への参画促進、意識啓発セミナーを開催します。

(5) 女性ロールモデルの見える化と女子学生・院生との交流機会の拡大

ホームページ等によるJAXA女性研究者の紹介、イベントの開催、進路やキャリア形成の相談をうけます。

(6) 内外連携の推進、相互協力ネットワークの形成

JAXA内外の情報共有をはかり、協力体制を築きます。



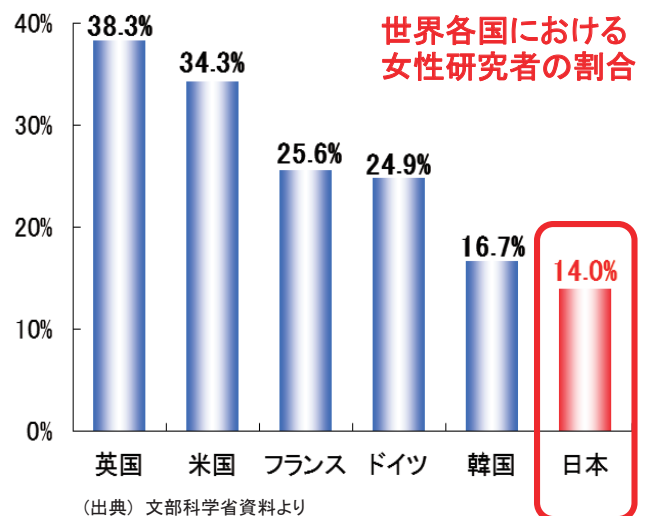
◆ もっと詳しく知りたい人のために

<http://stage.tksc.jaxa.jp/geoffice/index.html>

◆ 女性研究者をめぐる現状

日本は、第3期科学技術基本計画より女性研究者の採用に関する数値目標を掲げ、その登用及び活躍促進を進めており、女性研究者は年々増加傾向にあります。しかし、その諸外国と比較すると割合が少ないのです。

女性研究者の研究と出産・育児等との両立が困難であること、研究者の業績評価に当たって、育児・介護に対する配慮が不足していること等が課題です。



◆ 室長から一言

男女共同参画推進室 室長・塩満典子



2013年10月より、JAXAも、文部科学省が推進する「女性研究者研究活動支援事業」に参加し、全国に広がる89実施機関の仲間入りを果たしました。

当室では、子育てや介護の支援のための環境整備、個々人の能力発揮を目指した研究開発力・マネジメント力・外部資金獲得力の向上のためのサポートを行います。

また、宇宙航空分野で活躍する先輩女性の見える化を図り、女子中高生、大学生・院生との交流を進め、次代を担う女性の参画を促進します。男女一緒に分け隔てなく、宇宙航空分野の夢を共有したいと考えています。

理工系職員が語る私の仕事

会場:第一会場1階 ⑪

「仕事か生活かの二者択一から両立へ」 7/25(金), 26(土) 10:00-10:15

「理工系男性教職員が語る私の仕事と生活」 7/25(金) 10:30-11:00

「理工系女性教職員が語る私の仕事と生活」

7/25(金) 11:30-, 13:00-, 14:00-, 15:00- 7/26(土) 10:30-, 11:30-, 13:00-, 14:00-, 15:00 (各30分)

登壇者 プロフィール

7/25(金), 26(土) 10:00-10:15

男女共同参画推進室、新事業促進センター 塩満 典子(しおみつ のりこ)

主な職歴: 科学技術振興事業団国際室調査役、文部科学省宇宙政策課調査国際室長、奈良先端科学技術大学院大学教授、内閣府男女共同参画局調査課長・参事官、お茶の水女子大学教授・学長特別補佐、科学技術振興機構(JST)科学技術システム改革事業推進室長、JAXA調査国際部参事等を経て2012年より現職。

7/25(金) 10:30-11:00

ISAS 宇宙飛行工学 研究系 准教授 川勝 康弘(かわかつ やすひろ)

1998年NASDA就職。「かぐや」、「あかつき」、「あかり」、「SPICA」の軌道計画を中心としたアストロダイナミクスの研究、および深宇宙探査機のミッションデザインシステム開発に取り組む。

7/25(金) 10:30-11:00

ISAS 研究総主幹 満田 和久(みつだ かずひさ)

1987年ISAS宇宙圏研究系助手、助教授、教授を経て現在に至る。「すざく」のプロジェクトマネージャー等、歴代X線天文衛星の開発を手がけ、日本のX線天文学の発展に貢献。

7/25(金) 10:30-11:00

ISAS SE推進室 児子 健一郎(にこ けんいちろう)

1999年NASDA就職。さく8号姿勢制御系、柔構造衛星のダイナミクス同定と姿勢制御、静止衛星用地球センサ、姿勢系・ランデブッキング系試験設備、地球観測衛星の姿勢制御系・打上運用・高精度静止観測衛星システムの基盤技術の開発を行う。

7/25(金) 10:30-11:00

ISAS BepiColomboプロジェクト、SE推進室 前島 弘則(まえじま ひろのり)

修士課程修了後、1991年NASDA就職。環境観測技術衛星、月周回衛星、省庁出向等を経て、現在BepiColomboプロジェクトマネジメントを行う。

7/25(金) 11:30-12:00

ISAS ASTRO-Hプロジェクト、SE推進室 小川 美奈(おがわ みな)

修士課程修了後、1992年NASDA就職。地球観測センター、筑波宇宙センター統合追跡ネットワーク技術部、研究開発本部軌道航法グループ(併任)等を経て、現在、ASTRO-Hのシステムズエンジニア。

7/26(土) 10:30-11:00

ISAS 太陽系科学研究系 助教 大竹 真紀子(おおたけ まきこ)

月周回衛星「かぐや」観測機器開発、月科学研究を経て、現在、月科学研究、将来月惑星探査検討、「かぐや」データ校正処理、「はやぶさ2」機器開発に携わる。

7/25(金) 13:00-13:30, 7/26(土) 14:00-14:30

ISAS熱・流体グループ 岩田 直子(いわた なおこ)

修士課程修了後、2007年JAXA就職。衛星の熱設計、熱制御材の研究開発に携わる。

7/26(土) 11:30-12:00

ISAS航法・誘導・制御グループ SE推進室 研究開発本部軌道航法グループ 廣瀬 史子(ひろせ ちかこ)

修士課程修了後、2004年JAXA就職。スペースデブリの観測・衝突解析等を行い、現在、金星探査機「あかつき」の軌道計画に携わる。

7/25(金) 14:00-14:30

会津大学 准教授 奥平 恭子(おくだいら きょうこ)

2006-2008年JAXA宇宙科学研究本部 宇宙情報・エネルギー工学研究系研究員。2008年より会津大学へ。現在、企画運営室、CAIST(先端情報科学研究センター)も兼務。

7/26(土) 13:00-13:30

ISAS 太陽系科学研究系 准教授 松岡 彩子(まつおか あやこ)

1994年 ISAS太陽系プラズマ研究系助手、文部省在外研究員、ISAS宇宙プラズマ研究系助手を経て、現職。「あけぼの」プロジェクトマネージャ。

7/25(金) 15:00-15:30

ISAS ジオスペース探査衛星プロジェクト、SE推進室 仁田 工美(にった くみ)

メーカー勤務ののち、博士課程終了後、2005年JAXA就職、研究開発本部 電源グループ、未踏技術研究センターデブリユニット・研究推進部を経て現在に至る。

7/26(土) 15:00-15:30

第二衛星利用ミッション本部 油井-山下 由香利(ゆい-やました ゆかり)

2000年NASDA就職、地球観測研究センター研究員の後、地球観測研究センター・ISAS・研究開発本部の主任開発員。現在、地球観測光学センサ開発を担う。